

7. 結果まとめ(中間評価)

	強肯定割合平均	教職員	肯定的意見の割合	強肯定割合(%)
			R5.7月	
① 確かな学びのある学校づくり	46.2	1 学力向上プランに基づいて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による授業改善を推進している。	100	31.8
		2 児童に発表するときの姿勢や聞く姿勢を指導し、「話し合う力」の育成に取り組んでいる。	100	
		3 児童に漢字の読み書き・計算の力が付くように、研究の取組に基づいて朝自習・帯タイムで取り組ませている。	100	
		4 家庭学習の質の向上を図り、毎日きちんと取り組むよう指導している。	100	
② 温もりのある学校づくり	67.3	5 自分から、挨拶したり、返事するよう指導している。	100	83.3
		6 一人一人の児童を認め励ましなが、自己肯定感や自己有用感高める指導をしている。	100	
		7 児童が楽しく学校生活をすごせるように指導している。	100	
		8 掃除や給食当番、行事の取組では、縦割り班活動の充実が図られるように指導している。	100	
③ 健康な体を育む学校づくり	58.4	9 体育学習の工夫や体育的行事の充実などにより、児童の体力向上を図っている。	100	55.6
		10 「早寝・早起き」「朝ごはん」などの生活習慣が身に付くよう、指導している。	100	
		11 危険予測や健康的な生活等について指導し、児童自身による健康・安全管理能力の育成を図っている。	100	
④ 学育した地域と連携した学校づくり	53.3	12 年間を通して、地域のよさ(人的・物的資源)を生かした体験的な活動を計画・実施している。	83	46.1
		13 学級便り(月2回以上)や連絡帳、電話連絡など、積極的な情報発信や交流に努めている。	71	
⑤ 力を活かす教職員のチームづくり	54.2	14 教育方針に基づき、共通理解・共通行動に努め、協力して行動している。	100	54.2
		15 校務分掌や各担当の業務を通し、課題を把握して積極的に学校経営へ参画している。	100	
		16 退校目標時刻19時とし、定時退校日(月2回以上)を意識して業務を行っている。	100	

青: 強肯定の割合75%以上
赤: 強肯定の割合40%未満

	保護者	肯定的意見の割合	強肯定割合(%)
		R5.7月	
1			
2	お子さんは、学校での出来事や学んだことについて、家で話をしていますか。	87.5	42.7
3	お子さんは、基礎的な学力(漢字・計算等)の力がついていと思いますか。	90.6	
4	お子さんは、家庭学習に取り組んでいますか。	90.6	
5	お子さんは、自分から挨拶ができていますか。	90.6	
6	学校は人間関係づくりを通して、いじめの未然防止に努めていると思いますか。	84.4	49.2
7	お子さんは 意欲的に登校していますか。	96.9	
8	お子さんに家での役割(手伝い・自分の仕事)をさせていますか。	84.4	
9	お子さんは 家の中や外で積極的に運動をしていますか。	78.1	44.7
10	お子さんは、「早寝・早起き」「朝ご飯」などの生活習慣が身に付いていますか。	84.4	
11	学校は、避難訓練などの安全指導の実施や、病気やケガの予防の取組等、安心安全な環境づくりに努めていると思いますか。	94	
12	学校は、地域のよさを生かした教育を推進していると思いますか。	94	60.9
13	学校は、方針や行事、児童の様子をお便りやホームページ等で分かりやすく伝えられていると思いますか。	93.8	
14			
15			
16			

	児童	肯定的意見の割合	強肯定割合(%)
		R5.7月	
1	友だちとの話し合いで、自分の考えを深めることができています。	97	64.0
2	自分の考えが友だちに伝わるように発表しています。	93.8	
3	学習した漢字が書けたり、計算ができています。	71.9	
4	宿題を必ずしている。	91	
5	人に(大人や子ども)、自分からあいさつをしています。	96.9	69.5
6	困っていることがあったら、先生などに相談している。(相談しようと思う。)	84.4	
7	学校は楽しい。	97	
8	自分から、すすんで掃除や係の仕事、(行事の運営)をしています。	100.0	75
9	体育等でみんなと一緒に体を動かしている。	100	
10	早ね・早おきの時間や朝ごはんを大切に生活をしている。	87.5	
11	安全に避難する工夫がなかったり、病気やけがの予防をして安全に生活したりしています。	97	
12	自分たちが住んでいる地域の学習に興味がある。	94	53
13			
14			
15			
16			

結果・分析
<p>○項目4「家庭学習」について、教職員、保護者・児童ともに90%以上で肯定的意見の割合が高い。 ▲5つの柱の中で、①の強肯定が一番低い。児童自身が「できるようになった」と自信がもてる、良い結果がでるように学力向上に向けての具体的な取組を計画し、児童や保護者に伝え、継続して組織的に行っていく。</p>
<p>○項目5・7について、教職員・保護者・児童ともに、肯定的に捉えている割合が高い。 ○項目8について、教職員・保護者・児童ともに、学校で掃除や係の仕事、縦割り班活動で役割を果たしてしている、指導している、お手伝いをさせている、と感じている。 ○②の柱は、強肯定の割合が最も高い。今後も取組を継続していく。</p>
<p>○項目11で、安全に関する指導・取組について教職員・保護者・児童ともに、肯定的割合が高い。 ▲項目9で、保護者の家での運動を肯定的に捉えている割合が低い。学校で家でも運動をできるような声かけなどをしていく。</p>
<p>○地域学習について、児童も保護者も関心が高い。地域・保護者との連携を今後も図っていくために、地域学習や交流を積極的に行っていく。</p>
<p>○どの項目も100%である。 ○強肯定は54.2%で、昨年度より15%アップしている。</p>

結果・分析

○④の柱以外どの項目も肯定的な回答の割合が高い。
○②温もりのある学校づくりでは、強肯定の割合が83.3%と高く、児童同士のつながりや心地良い雰囲気をつくる指導を意識している。
▲④「地域と連携した学校づくり」では、「活動や取組を実施することができなかった」、「学級便りの発行回数が少なかった」と反応も見られたので、2学期は計画的に進めていけばよい。
▲①「確かな学び」の強肯定の割合が低く、自信をもって取り組めていない、結果が伴っていない、などの原因がある可能性がある。

○学校の取組等に対して、肯定的な回答の割合が高い。
○項目8「お手伝い」は約9%、項目10「早寝・早起き・朝ごはん」は約5%
昨年度より肯定的な割合がアップした。昨年度のお手伝いを課題に与えたり、懇談会の時に、規則正しい生活についての情報交換を行っていることも結果につながっていると考えられる。
▲項目9「運動」については、体育だけではなく、集会などにも体を動かす取組を行うと良い。

○項目8「進んで仕事」や項目9「体を動かしている」では100%で、全校児童が肯定的に捉えている。
○項目3「学習した漢字や計算ができる」が約72%の肯定的な回答であった以外は、どの項目も割合が高い。
▲項目3「学習した漢字や計算ができる」では、自信がない、分からない、と捉えている児童が一定数いる。